



2023年3月期

決算説明資料

2023年5月

証券コード
6623

2023年3月期の 総括

- － 売上高は、回転機事業が好調で過去最高を更新
- － 営業利益他は、回転機事業が牽引して過去最高を更新

2024年3月期の 方針

- － 積極的な投資でさらなる増収を見込む
- － 一方で償却負担増加と新工場立ち上げの初期費用発生により減益を見込む

中期経営計画の 進捗状況

- － 各事業での施策の推進により、計画通りに進捗
- － 中期経営計画最終年へ向けて各施策の達成を目指す

1. 会社概要・事業概要
2. 2023年3月期決算概要
3. 2024年3月期の見通し
4. 中期経営計画の進捗
(2020年3月期～2024年3月期)

会社概要・事業概要

会社概要



中部電力グループの電気機器メーカー

会社名	愛知電機株式会社
市場・証券コード	名古屋証券取引所 プレミア市場・証券コード6623
本社	愛知県春日井市愛知町1番地
資本金	40億5,300万円（2023年3月末現在）
業績	売上高：1,142億円 営業利益：75億円（2023年3月期実績）
従業員数	2,794名（2023年3月31日現在）
創業	1942年2月17日（創立81年）
主な事業内容	- 電力機器事業：変圧器、制御機器、電力システム等の製造販売 - 回転機事業：空調圧縮機用モータ等の小型モータ、プリント配線板等の製造販売
大株主	中部電力株式会社 24.5%（2023年3月末現在）



拠点、子会社



- 全国の送配電会社の要請に対応できるネットワークを構築
- 国内は愛知県を中心として国内に5つの子会社を展開
- 海外は、中国に主力工場

国内ネットワーク



国内子会社

(株) 愛工機器製作所	プリント配線板の製造販売
岐阜愛知電機 (株)	変圧器の製造販売、電気・通信工事の設計・施工
寿工業 (株)	非鉄金属の鋳造加工販売
白鳥恵那愛知電機 (株)	空調圧縮機用モータ、樹脂成型部品等の製造販売
長野愛知電機 (株)	電子機器、高圧電源の製造販売、発電機・送電工事の設計施工

海外子会社

蘇州愛知高斯電機有限公司	車載空調圧縮機用モータ、駆動用モータの製造販売
蘇州愛知科技有限公司	建物空調圧縮機用モータの製造販売
広州愛知電機有限公司	建物空調圧縮機用モータの製造販売
蘇州愛工電子有限公司	プリント配線板の仕入・検査・販売

経営基本方針

積極経営

技術錬磨

人間尊重

中期経営理念

よい物を創る、
よい人を創る、
よい関係を創る、
価値ある会社

愛知電機グループが
ステークホルダーに
提供する多様な価値

お客様

お客様満足、品質、価格、納期

社員

夢・誇り・勇気、業績の処遇への反映

取引先

取引先との連携、取引拡大と相互発展

地域社会

雇用の創出、環境保全、地域貢献

株主

利益還元、株式価値、企業情報

ありたい姿

確かな技術で未来に向けた製品・サービスを創り出し、成長し続ける電機メーカー

事業概要



電力機器事業と回転機事業の2本柱体制

電力機器事業

小型・中型・大型変圧器、自動電圧調整器、制御機器、配電自動化システムなどの開発・製造・販売、プラント工事

主要納入先

国内外の送配電会社および一般民間企業等



柱上変圧器
(小型変圧器)



自動電圧調整器



制御機器

回転機事業

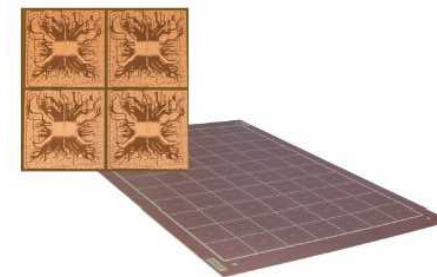
空調圧縮機用モータ、パッケージ基板用コア等プリント配線板、アクチュエータ等の介護用機器などの開発・製造・販売

主要納入先

冷暖房機器メーカー、カーエアコン用圧縮機メーカー、プリント配線板メーカー等



空調圧縮機用モータ



パッケージ基板用コア



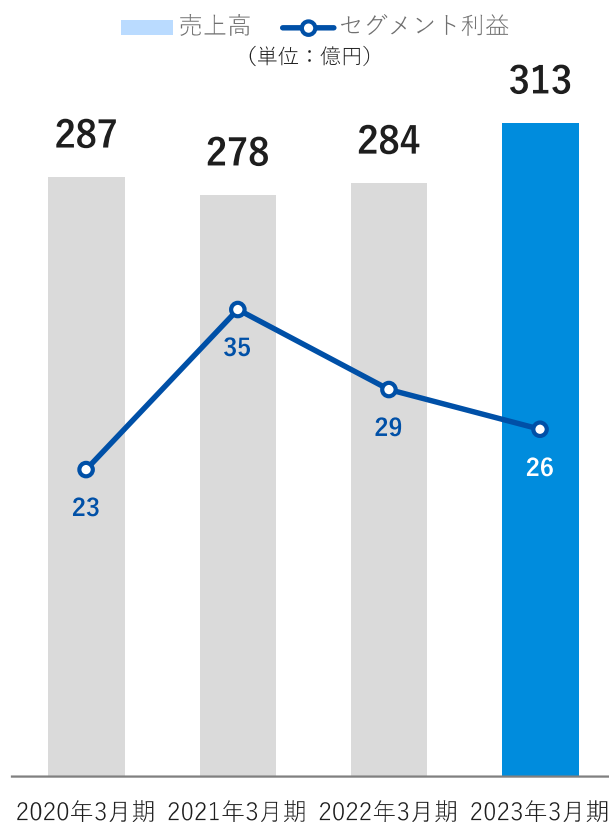
電動ベッド駆動用
アクチュエータ・駆動用制御装置

業績推移

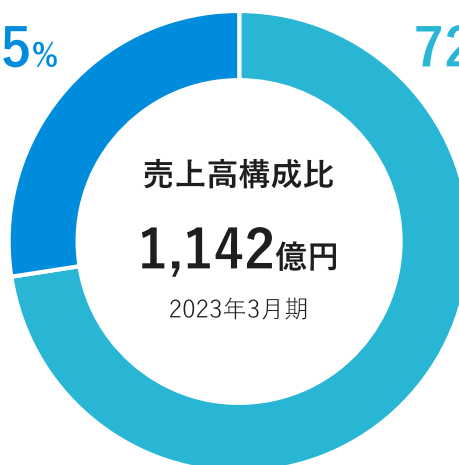


- 電力機器：売上高横ばいで推移、安定したセグメント利益
- 回転機：売上高の伸長によりセグメント利益が大幅に増加

電力機器事業

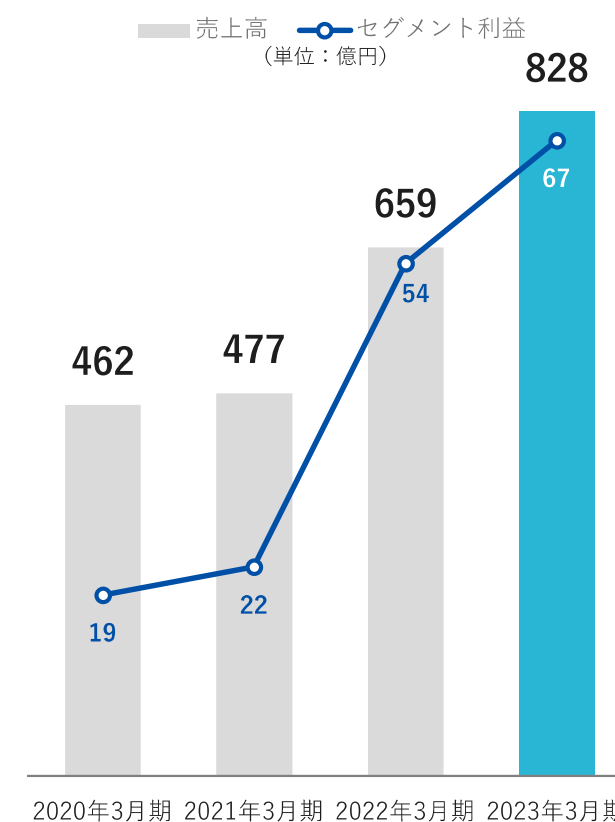


電力機器事業
27.5%



回転機事業
72.5%

回転機事業

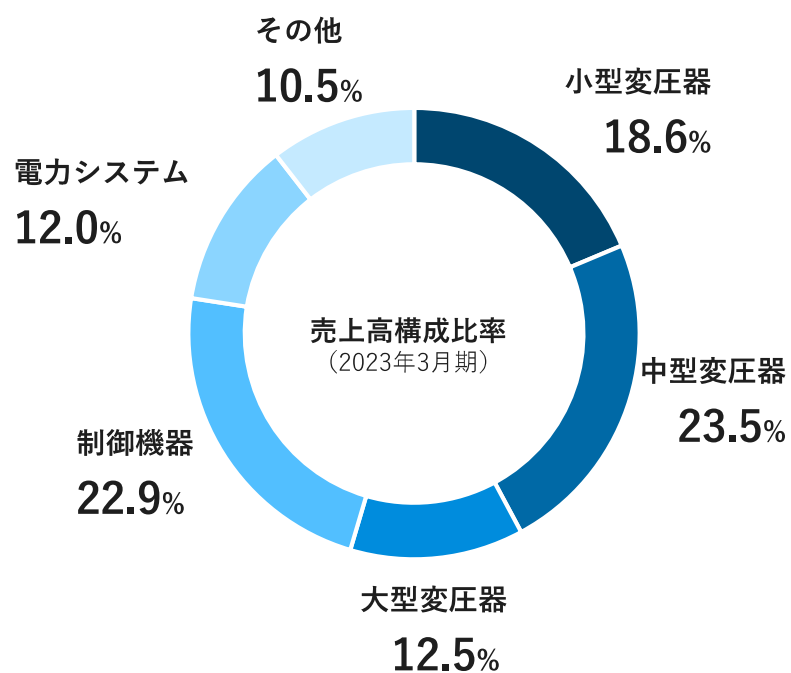


売上高構成比

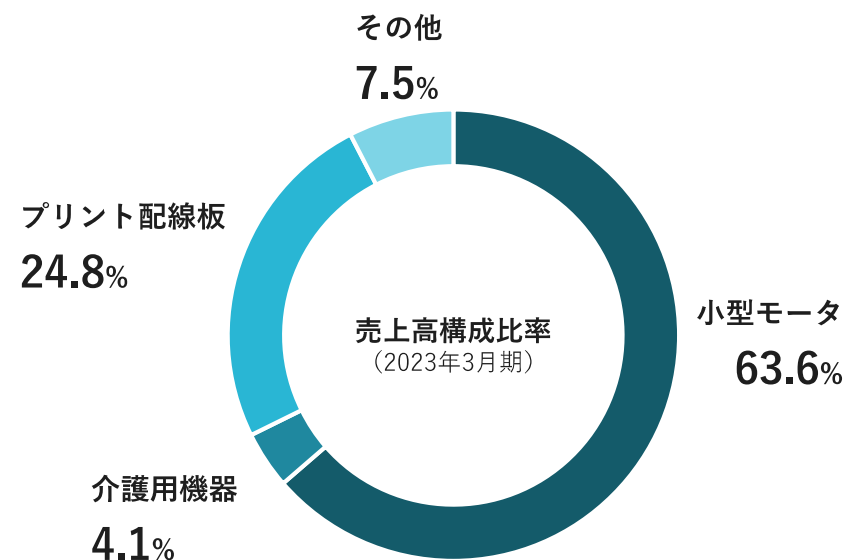


- 電力機器事業：変圧器（小型・中型・大型）、制御機器、電力システムで構成
- 回転機事業：小型モータとプリント配線板が主力

電力機器事業



回転機事業



特徴・強み

電力機器業界の特徴と当社の強み



電力機器業界の特徴

送配電会社が最大のお客様
安定的かつ高品質な電力供給が使命

インフラ事業であり技術的な参入条件が
高いため、限定的なプレイヤーによる競争

長寿命・小型軽量・低損失・低コストが
要求される

当社の強み

全国の送配電会社との信頼関係

本社および6支社による開発・販売・サポート体制
長年にわたる全国の送配電会社との取引実績

送配電会社の各種機器で型式を取得

送配電会社の規格に準拠した製品を開発
送配電会社との共同研究（基礎・応用・製品開発）

良質な製品（Quality）を適正な価格（Cost）で 必要な時期に提供（Delivery）

本社工場の開発から製造までの一貫生産体制
TPSかいぜん活動の推進、多機種混流ラインの実現

空調圧縮機用モータ・プリント配線板業界の特徴と当社の強み



空調圧縮機用モータ（ハーメティックモータ） 業界の特徴

圧縮機内の密封された特殊使用環境で
耐冷媒・耐熱・耐振動性が要求される

顧客が供給先であり、競合先
顧客は省電力化を推進

プリント配線板（PKG基板）業界の特徴

微細化・高集積化・高信頼性
が要求される

当社の強み

圧縮機用モータ専門メーカー

1960年にハーメティックモータの技術を習得。以来、
モータ専門メーカーとして世界の主要エアコン用圧縮機メーカーに納入

顧客に選ばれるモータ技術

モータ専門として顧客内製を超える技術力・調達力
製品に見合った自動化・半自動化ラインにより価格競争力を維持

PKG基板用コアの事業領域で高い技術を保有

ドリル加工やパターン形成などの技術で優位
顧客内製を超える品質・コスト対応力

2023年3月期 決算概要

2023年3月期 決算概要



■ 増収増益

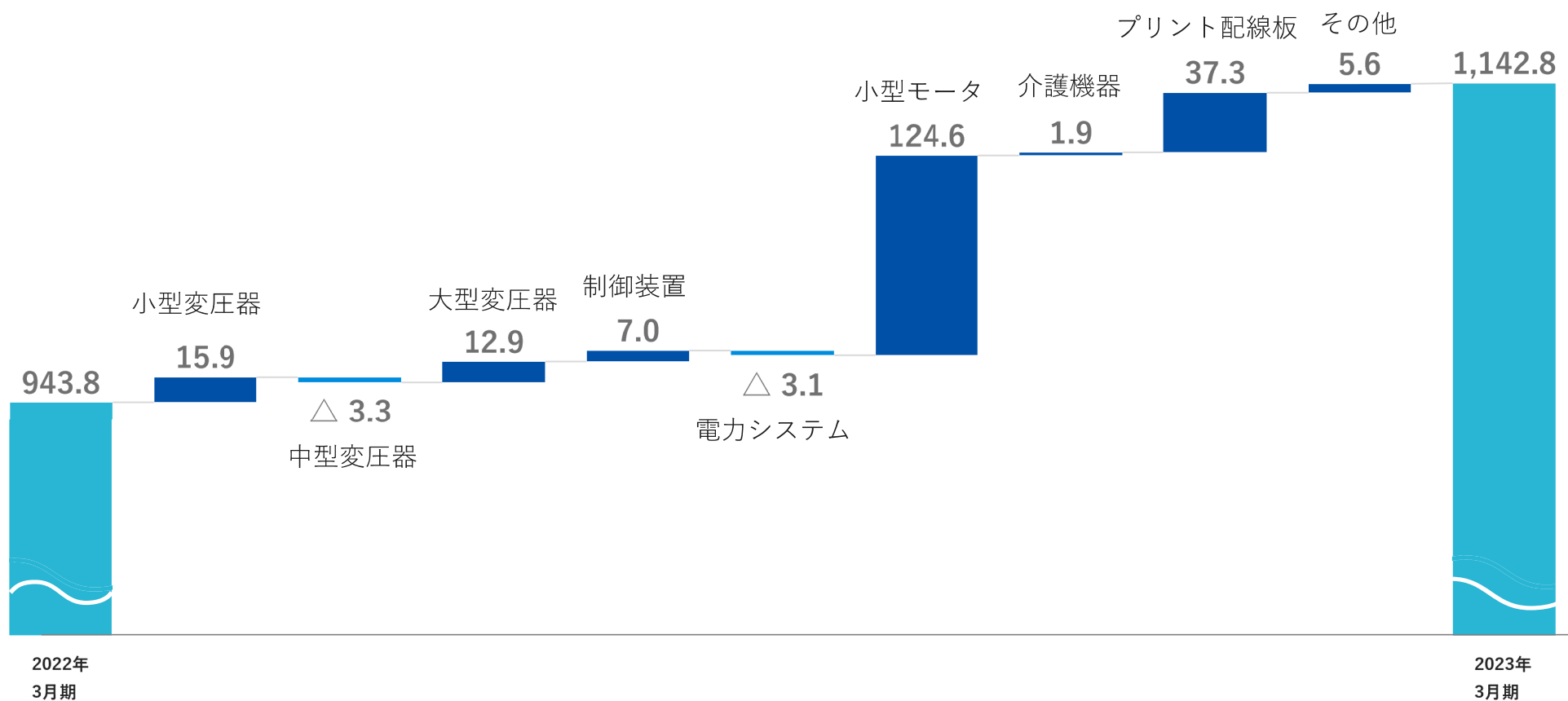
■ 回転機事業が業績を牽引

(単位：億円)	2022年3月期	構成比	2023年3月期	構成比	前年比	増減額	期初計画 (2022年4月28日公表)
売上高	943.8	100.0%	1,142.8	100.0%	+21.1%	+ 199.0	1,030.0
売上総利益	147.6	15.6%	161.6	14.1%	+9.5%	+ 13.9	—
販売費及び 一般管理費	81.0	8.5%	86.6	7.5%	+6.9%	+5.6	—
営業利益	66.6	7.1%	75.0	6.6%	+12.6%	+ 8.3	67.0
経常利益	79.6	8.4%	87.9	7.7%	+10.4%	+ 8.2	70.0
親会社に帰属する 当期純利益	55.6	5.9%	59.5	5.2%	+7.0%	+3.9	49.0

売上高増減要因分析（前年比）



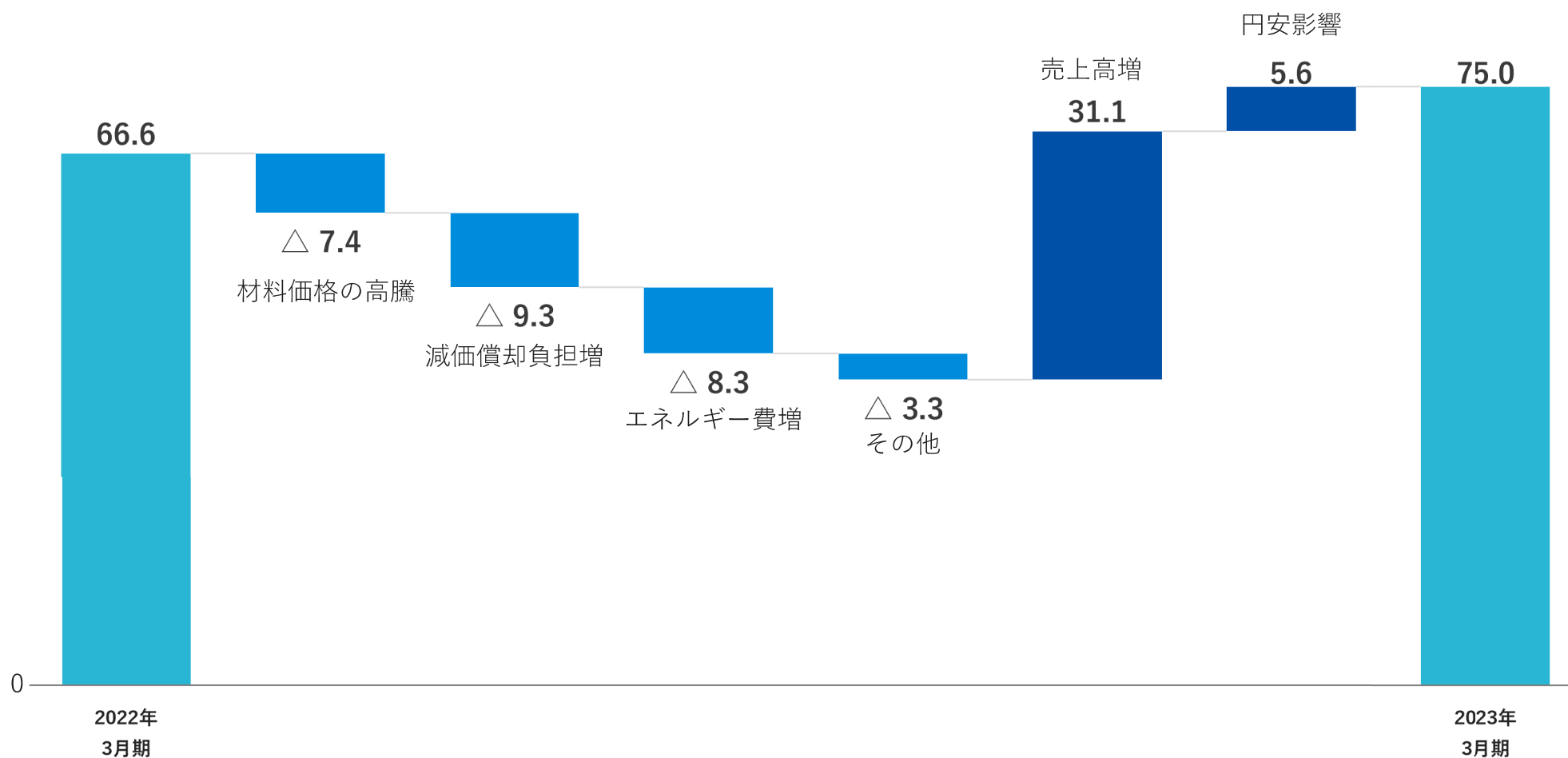
- 小型モータはコロナ禍による巣ごもり需要と世界的な温暖化を背景とした需要増、電動車普及拡大により大幅増収
- プリント配線板はデジタルインフラへの投資拡大を受けて大幅増収
- 小型変圧器と大型変圧器は送配電事会社の需要増により増収



営業利益増減要因分析（前年比）



■ 部材価格高騰も大幅な売上増のため増益



バランスシートの状況



■ 売上高の拡大、生産能力増強のための設備投資により、資産全体が増加

■ 自己資本比率は54.4%（2022年3月期：56.4%）

資産の部

(単位：億円)	2023年3月末	前期末増減
流動資産	846.6	+104.8
現金預金	209.4	+37.9
売上債権	414.7	+38.5
その他流動資産	222.4	+28.3
固定資産	387.1	+25.9
有形固定資産	277.0	+27.1
投資その他の資産	110.1	△1.2
資産合計	1,233.7	+130.7

負債・純資産の部

(単位：億円)	2023年3月末	前期末増減
負債合計	548.6	+80.6
仕入債務	267.4	+16.6
短期借入金	51.6	+20.7
長期借入金	87.6	+50.1
純資産合計	685.1	+50.0
負債純資産合計	1,233.7	+130.7

キャッシュ・フローの状況



■ 積極的な投資により、財務活動によるキャッシュフローは50.4億円、現預金残高を維持
フリーキャッシュフローは△13.9億円

(単位：億円)	2022年3月期	2023年3月期	増減	主な要因
現金及び現金同等物の期首残高	170.0	164.5	△5.4	—
営業活動によるキャッシュフロー	△0.04	52.1	+52.2	・純利益と減価償却費によるもの
投資活動によるキャッシュフロー	△8.4	△66.0	△57.6	・回転機事業の設備投資によるもの
フリーキャッシュフロー	△8.4	△13.9	△5.4	—
財務活動によるキャッシュフロー	△3.6	50.4	+ 54.0	・長期借入金によるもの
現金及び現金同等物の期末残高	164.5	202.5	+ 37.9	

2024年3月期の見通し

2024年3月期 決算見通しの前提条件



■ コスト増加見込む

■ 市場は調整局面へ

エネルギー関連

電力費用は増加

投資

- ・ パッケージ基板用コア新工場の立上げ
- ・ 国内外での車載モータの生産ライン増強

償却費

小型モータ、パッケージ基板用コアの
設備投資に伴う減価償却費の増加

市況環境

半導体関連、空調圧縮機用モータは
上期調整局面

2024年3月期 決算見通し



- 小型モータやパッケージ基板用コアの需要回復により増収
- 一方で償却負担増加と新工場立上げ費用発生のため減益を予想

(単位：億円)	2023年3月期	利益率	2024年3月期	利益率	増減額 (前年比)	利益率増減 (前年比)
売上高	1,142.8	—	1,250.0	—	+107.2	—
営業利益	75.0	6.5%	70.0	5.6%	△5.0	△0.9
経常利益	87.9	7.6%	70.0	5.6%	△17.9	△2.0
親会社株主に帰属 する当期純利益	59.5	5.2	49.0	3.9%	△10.5	△1.3

設備投資・減価償却費

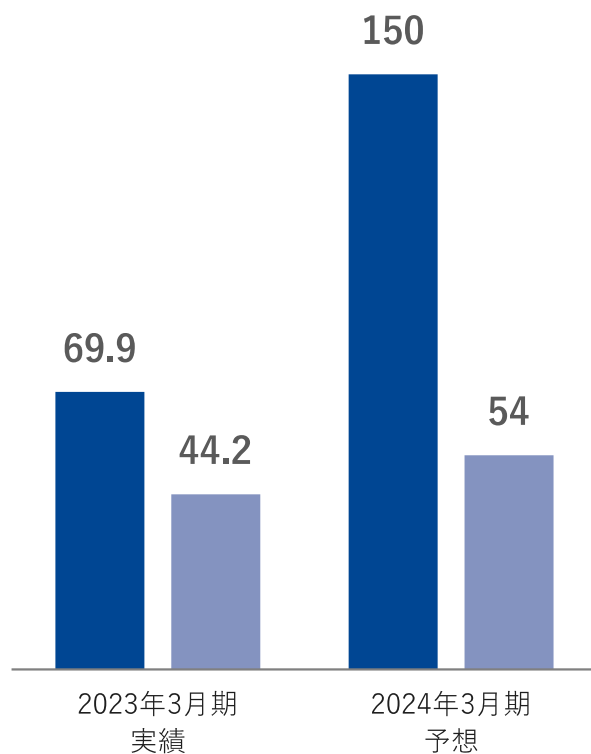


積極的な設備投資を継続

設備投資・減価償却費

■ 設備投資 ■ 減価償却費

(単位：億円)



設備投資の実績（2023年3月期）

パッケージ基板用コアの生産能力増強	38.6億円
車載空調用モータの生産能力増強	13.3億円
小型変圧器工場リニューアル	2.9億円

2024年3月期 設備投資計画

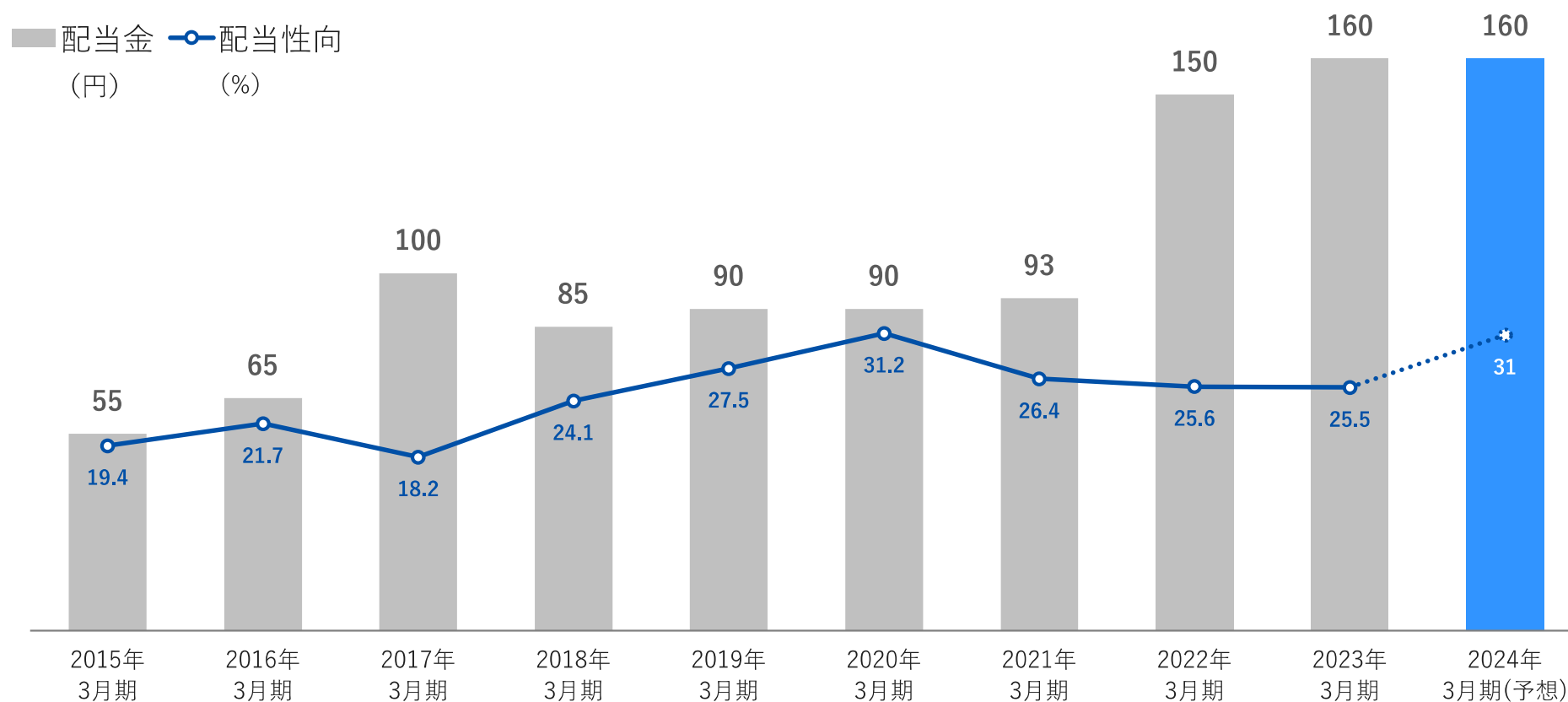
	総投資額	稼働予定
パッケージ基板用コアの第3期生産能力増強	約70億円	2025年3月期より順次
車載空調圧縮機用モータの生産能力増強	約43億円	2024年3月期上期より順次

配当・株主還元策



■ 株主に対する安定的な利益還元は経営の最重要政策と位置付け

■ 配当性向25%～40%を目指す



(注) 2016年10月に普通株式5株を1株に併合しております。

これにより2016年9月末までの1株当たり配当金額については、株式併合後のものと整合をとるため、実績値の5倍で表記しております。

中期経営計画2023の進捗

～確かな技術で未来をひらく～ 変革と挑戦
(2020年3月期～2024年3月期)

中期経営計画への取り組み事例



①車載空調圧縮機用モータの生産能力増強

94.2億円の投資

(2020年3月期～
2023年3月期)

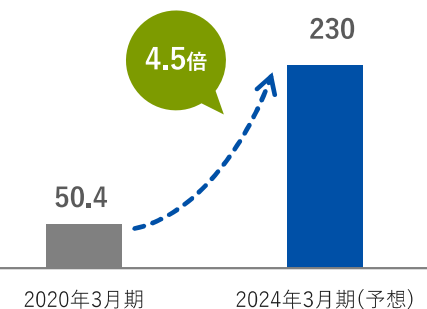


国内工場



海外工場

売上高（億円）・伸長率



②パッケージ基板用コアの生産能力増強

97.5億円の投資

(2020年3月期～
2023年3月期)

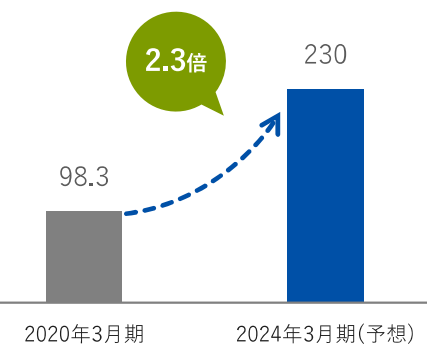


愛工機器製作所 本社工場



中津川工場

売上高（億円）・伸長率



中期経営計画への取り組み事例



③小型変圧器工場のリニューアル

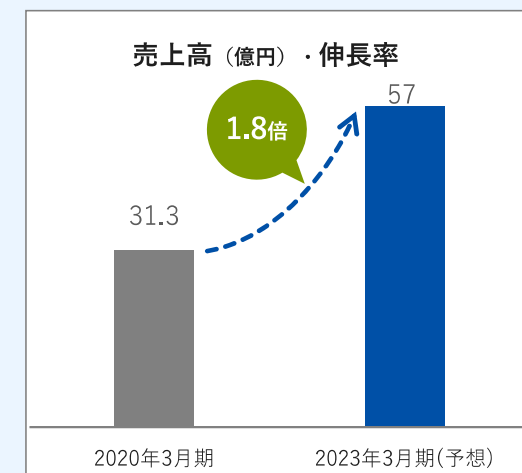
9.5億円の投資

(2020年3月期～
2023年3月期)



新設した修理工場

1. 生産機種の拡大
(修理需要への対応等)
2. 生産性向上
3. 製品原価低減



④小水力発電システム第一号機を納品

水力発電・関連機器事業を新しい柱として育成

2021年4月に新エネ開発グループ新設

1. 容量：410KW
2. 横軸フランシス水車
3. 2023年夏頃より稼働開始



長野県に設置



お 問 合 せ 先

TEL 0568-35-1121

管理本部総務部

<https://www.aichidenki.jp/contact.html>

< 注意事項 >

本資料の将来計画の数値につきましては、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。